

大阪大学医学部附属病院眼科における弱視・斜視診療の実態に関する後ろ向き観察研究

1. 研究の対象

2008 年 4 月 1 日～2022 年 10 月 30 日に受診し、斜視または弱視と診断された方

2. 研究目的・方法

目的 当院では毎年 300～400 名程の弱視または斜視の患者さんが受診されております。今回、当院に受診された弱視または斜視の患者さんを対象にどのような斜視や弱視の疾患があり、どのような手術やその他の治療が行われて、どのような治療結果になっているか、患者さんの長期経過など、これまで大規模に検討がなされていませんでした。

今回、当院での弱視・斜視患者さんの診療実態を調査し、どのような疾患が多いか疾患の特徴とそれぞれの疾患に対する治療成績を評価し、どの治療が効果的であったかを見出し、結果をまとめて公表するとともに、これらの結果を今後の診療に役立てることを目的とします。

方法 当該患者さんの電子カルテを調査します。斜視については、斜視の種類、発症年齢、性別、斜視角、視力、等価球面值、治療法（手術や眼鏡など）、治療の結果などを調べ、

弱視については、弱視の種類、発症年齢、性別、視力、等価球面值、前眼部、眼底所見、治療法（眼鏡など）、治療の結果などを調査します。

研究期間：研究機関の長の許可日～2027 年 10 月 30 日

3. 研究に用いる情報の種類

対象となる情報

皆様のお名前や個人を特定できるような情報は含まれません。斜視の種類、弱視の種類、発症年齢、性別、斜視角、視力、等価球面值、眼底検査などの診察時の所見、治療法（手術や眼鏡など）、治療の結果など今回使用するのは情報既存の情報であり、本研究の目的以外に使用することはありません。

データを利用する研究機関及び責任者

大阪大学 大学院医学系研究科視覚機能形成学・寄附講座准教授・森本 壮

個人情報保護法の遵守

研究に伴って収集、管理、利用する個人情報について、個人情報保護法等の関連法規及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針を誠実に遵守し、適切に取り扱うものとします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学大学院医学系研究科・視覚機能形成学寄附講座 ・ 森本 壮
連絡先：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2－2 E7
電話番号 06 6879 3456

研究責任者：

大阪大学大学院医学系研究科・視覚機能形成学寄附講座 ・ 森本 壮